

---

# 刊行にあたって

---

2002年3月『THE 自由診療』より12年が経ち、その続編として『THE 自由診療2』が発刊される運びとなりました。この12年間で、世の中は大きく様変わりしております。前巻が発刊された時期は小泉首相全盛期であり、社会保障費も聖域なく削減され、その後、経済は持ち直したもののリーマン・ショック、東日本大震災など経済危機や天変地異が次々と起こり、歯科界も大きく影響を受けました。民主党政権下において、歯科にとって有利に保険改正が行われましたが、現在の与党自由民主党によって、再び社会保障費が削減されようとしております。

保険収入の減収は、ともすれば「自費を増やそう」とする流れになりやすく、「保険 vs. 自費」という構図になりがちです。しかし、「自費のみ」を求める患者さんの数は決して多くありません。治療の一部が保険または自費という場合がほとんどです。したがって、「保険も自費も」取り込む戦略をしっかりと作っていく必要があります。では、その戦略はどのように立てていけばよいのでしょうか。また、それは歯科医師一人の努力でできるものなのでしょうか。さらにいえば、「1回の努力がその後の繁栄を導いた」という成功例を私は見たことがありません。

ひとつひとつの歯科医院で、いろいろな形で地域に貢献するために日々努力が重ねられています。決して、努力がすべて成功へと繋がっているわけではありませんが、試行錯誤（PDCA）を根気よく行うことで、徐々にではあっても、遠回りであっても、歯科医院は伸びていきます。このたびの発刊に際し、多くの歯科医院に登場いただき、これまで継続してきた努力の一端を語っていただきました。読者の皆様にとって、少しでも参考になるところがあれば幸いです。

2015年1月  
千葉県・柏の葉総合歯科 院長  
康本征史